



地域固有の樹木による植栽管理をしています

～ウラジロガシ、ヤブツバキなど順調に生長～

- 金沢河川国道事務所では、環境保全を目的に加賀地方固有の植生を活かした道路緑化について試験的に取り組んでおり、白山市木津町～安養寺町の国道157号沿道に平成13～14年度にかけて地域固有樹木の植栽を行いました。
- 植栽の実施にあたっては、平成12年～13年度にかけて専門家を交えた「一般国道157号鶴来バイパス道路緑化懇談会（座長：古池 博先生）で作成された緑化計画に基づき実施しています。
- この度、植栽から約7年が経過し、現在の生育状況や今後の管理について専門家の助言を受けたところ、ウラジロガシなどの地域固有樹木が順調に生長していることが確認されました。
- そこで、今年度は、風よけ等の役目を終えたクロマツの伐採など専門家の助言に基づく植栽管理を行いますのでお知らせします。

1. 現状

白山市木津町～安養寺町の約550m区間については、クロマツと地域固有のウラジロガシ、タブノキ、スタジイ、ヤブツバキ等の樹木が植えられています。これは周辺で採取した土地の植物の種子を播種（種まき）によって生長させたものです。

クロマツは、ウラジロガシ他の地域固有の植物が育つまでの風よけ等のために、一緒に苗木を植えたもので、緑化計画では地域固有樹木の生長後に伐採することとしています。現在、播種から約7年が経過し、一部を除き順調に生長しているところです。

2. 今年度の管理

今回、地域固有樹木が1.5～2m程度に生長したので、風よけ等の効果が確認され役目を終えたクロマツを伐採することとしました。伐採したクロマツは小割にして地表に敷き詰め、雑草防止や地面の保湿材として活用します。

一部、地域固有樹木の生長が遅い範囲については、クロマツを伐採せず雑草を刈り取り、経過を観察します。

【施工時期】 クロマツの伐採 : 平成20年11月中旬
雑草の刈り取り : 平成21年 3月上旬

【問い合わせ先】

国土交通省北陸地方整備局 金沢河川国道事務所
加賀国道維持出張所長 澤山 雅則
Tel: 076-276-0797

参考1

1. 経緯

- ・平成12～13年度 3回にわたって有識者を交えた懇談会を開催し、緑化計画を作成。
「一般国道157号鶴来バイパス道路緑化懇談会」
座長:古池 博先生(石川県地域植物研究会 会長)
- ・平成13～14年度頃 植栽(播種)工事を実施。
- ・平成20年9月 専門家の立ち会いにより、今後の管理について助言を受ける。

2. 緑化計画の概要

- ・植栽(播種)範囲を3つのエリアに分類し、下記の3パターンで植栽(播種)した際の生育状況等の比較を行う。
 - Aパターン : 先駆樹木(クロマツ)の苗木と地域固有の樹木の苗木を1メートル間隔で交互に植え付け
 - Bパターン : 先駆樹木(クロマツ)の苗木と地域固有樹木の種子を用い、1メートル間隔で交互に播種と植え付けを実施
 - Cパターン : 地域固有の樹木の苗木のみを1メートル間隔で植え付け
- ・クロマツは、ウラジロガシ他の地域固有の植生が育つまでの風よけ等のために先駆的に植えた木で、緑化計画では地域固有樹種生長後に伐採。
- ・地域固有の樹木の播種用の種子は、近くの神社などで採集。
- ・苗木は近くの神社などで採取した種子から育て、育苗作業の一部は翠星高校、明倫高校、鶴来桑島町会などの住民参加により実施。

3. 現在までの生育状況

- ・Aパターン : 地域固有の樹種はクロマツに守られながら順調に生育。
交差点より北側は大きく生長しない樹種もあり、生長は遅い。
- ・Bパターン : 地域固有の樹種はクロマツに守られながら順調に生育。
- ・Cパターン : 風が強いため生長が遅い、今後も少ずつ生長することが見込まれる。



写真:Aパターンの生育状況
竹垣右側にクロマツとウラジロガシなどが生育



写真:Cパターンの生育状況
順調に生長したヤブツバキ(高さ約2m)

参考2

植栽位置図
及び各植栽パターンのイメージ図

